

# 「解体業は、新しい街づくりの下準備」 永年の建物解体工事実績を活かした 柔軟な対応力・高い安全性

ウミヤマ

ウミヤマ(横浜市鶴見区鶴見中央、海山龍男社長、045・504・4311)は、昭和25年に創業した、建物解体工事の請負業・各種設備工事を行う会社である。

創業当初は、戸建住宅を中心に解体を行っていたが、徐々に公共施設等の大型な建物の解体工事に携わるようになり、主に首都圏で営業を行っている。

同社の強みは、経験に基づく対応力の柔軟さである。自社所有による重機を計10台所有しており、施工計画から産業廃棄物のリサイクル処理に至るまで、解体工事業務を一貫して請け負うことができる。特に、安全に対する意識を非常に高く持っており、作業員のみならず周囲や通行人への配慮も大切にしている。安全性確保の観点からリスクアセスメントの実施を徹底しており、発生した産業廃棄物は、マニフェストによって5年間厳重に管理し、環境への配慮も徹底している。

本業以外にも、海山社長は神奈川県建物解体業界の理事を務め、神奈川県各地で実施される防災訓練へ協力するなど、社会貢献活動にも積極的に携わっている。また、業界全体に対する働きかけも行っており、それまで解体工事業は28種類あった建設業許可の「とび・土工事業」に分類されていたが、社長をはじめ業界関係者の熱意により、「解体工事業」として業務を確



防災訓練においては、社長(左)が元県知事(右)に直接説明を行う

立、認可されるに至った。

こうした多岐にわたる取組みの根底にあるのは、海山社長の「解体業は、スクラップ・アンド・ビルドの過程の中で、新しい街づくりの下準備を行い、お客様に引き渡す役割を担っている」という解体業に賭ける熱い想いだ。これからも解体を通じて未来をつくりだしていく。